

森のおくりもの3月



メジロ (メジロ科)



写真:遊佐悟さん (青葉区)

いよいよ3月です。自然観察センターの周囲はまだまだ根雪状態となっております。とはいっても、森ではマンサクやセリバオウレンがちらほらと咲きはじめております。これからカタクリをはじめたくさんの花々が追いかけるように開花し、華やかな森がはじまります。そんな春を感じに、ぜひ自然観察の森へおいで下さい。
(館長 菊池正行)

春だけ出てくる瑠璃色に光る虫 『コガタルリハムシ』

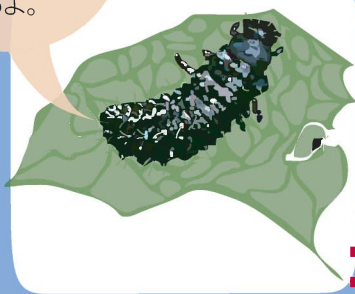


3/6頃は二十四節季の啓蟄（けいちつ）です。啓蟄とは、春の暖かさを感じて冬ごもりしていた虫が外に這い出てくるころのこと。観察の森の雪はまだ残っていますが、日も長くなり、もう春はそこまでやってきているはず*です。例年この雪が解けると観察センター前の芝生広場は、イノシシが耕しにきてボコボコになります。昨年は、耕された後をみると、青く輝くものが転がっていました。土の中で成虫越冬していたコガタルリハムシがコロコロと掘り出されていたのです。食べられなくてよかった！「這い出てくる」というより掘り起こされた虫ですね。

意外と逃げ上手なのだ

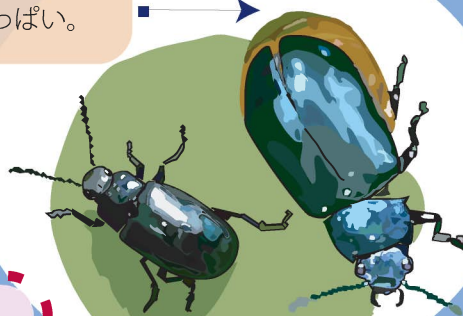
幼虫は、集団で葉を食すので葉はレース状になるよ。

幼虫



♀のお腹は翅からはみ出るほど卵でいっぱい。

成虫



近づくともろりと地面に落ちて逃げるよ。

【体長：約5～6mm】

私は、青く輝くこの虫を見ると、春を感じます。成虫幼虫ともに、スイバやギシギシの葉が好きで1枚の葉っぱに何匹もついて、仲良く食事している姿を目にします。メスのお腹は翅からはみ出るほどパンパンにふくれあがり、葉の裏に卵を産んで、次の世代へと交代していきます。生まれた幼虫は3週間ほど葉を食べ、土に潜ってさなぎになり、1週間で羽化します。新成虫は、しばらく葉を食べて過ごしていますが、夏秋冬とまた土の中で過ごし、来春出現するというライフサイクルを送ります。9ヶ月もの期間、土の中で過ごす彼らは春をどれほど待ちわびているのでしょうか。

● 好きな葉っぱが好きだよ ●



スイバ

【レンジャー：黒川周子】

*イノシシが餌を探す為に、広範囲にわたって鼻で土を掘り返すので、一面耕したように見えます。 →「ラッセル痕」

成虫で冬越しし、早春に飛ぶチョウたち



(ルリタテハ)

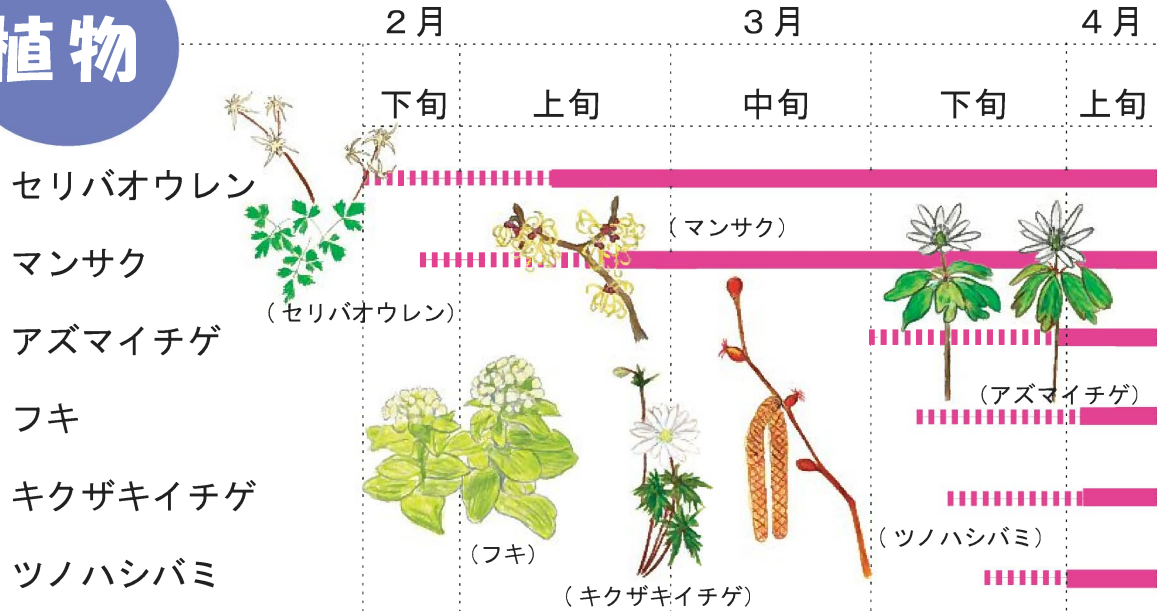
3月の生物ごよみ



(シータテハ)

観察の森ではどんな生き物が、いつごろ見られるの？

植物



2月15日に、であいの道でセリバオウレンの花が咲いていました。まだまだ寒い日が続いていますが、ゆっくりとそして確実に春は近づいているようです。早春に咲く花、マンサクも今年はたくさん花芽をつけています。昨年がほとんど見られなかっただけに今年はとても楽しみです。マンサク、セリバオウレンとも、場所を変えながら約1ヵ月ほど楽しめる花なのでどうぞお越しください。

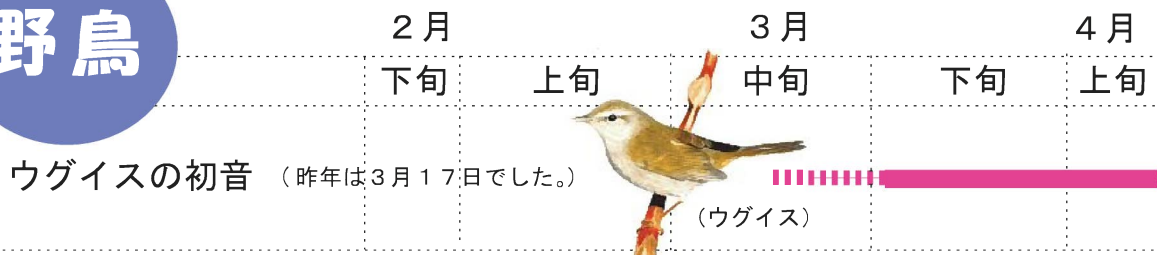
先月のおくりもので書いたバードテーブルに現れた謎の動物の正体がわかりました。千尋レンジャーがしかけてくれたセンサーカメラにばっちり『テン』の写真が写っていました。シャッターが押された時間はなんと真夜中の12時！！こんな遅くに来ていたのではなかなかお目にかかることもできませんね。やっと出会えた謎の訪問者にみんな大興奮だったのです。



【レンジャー：齋 正宏】

センサーカメラに写ったテン。木に巻いてあるテープはヘアートラップといい、動物の体毛がつくようにガムテープを巻いたもの。残念ながらこれにはかからず。

野鳥



※センサーカメラ 赤外線センサーなどで人がいなくても自動的に撮影ができるカメラ装置のこと。

レンジャー 木もれび BLOG



略してコモブロ 第10回 『ノウサギはどこへ?』

1月14日と26日に、雪の自然観察の森を歩き、野生動物の残した足跡を観察するイベントを開催しました。

両日とも雪の降るなかでしたが、カモシカやテンの足跡、リスが秋にうめたクリの実を掘りだした跡などがみつき、参加者のみなさんも喜んでおられました。



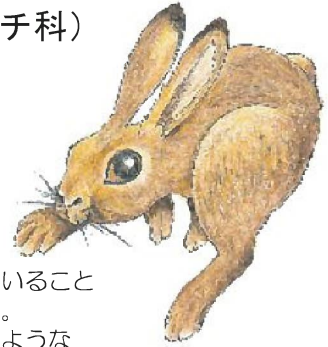
センターに帰ってからは、レンジャーがセンサーカメラで撮り貯めておいた野生動物の秘蔵写真スライドショーを観覧いただきました。

このイベントのときもそうでしたが、今年に入ってから自然観察の森では、ノウサギ（ウサギ科）の痕跡がほとんどみつかりません。去年はたくさんの足跡が残されていたのですが、今年はまったくありません。

一般的に、自然界ではノウサギが増えると、それを捕食するキツネ（イヌ科）が増え、キツネが増えると逆にノウサギが減っていく、という“波”があります。でも、自然観察の森にキツネの足跡はそれほど多くありません。

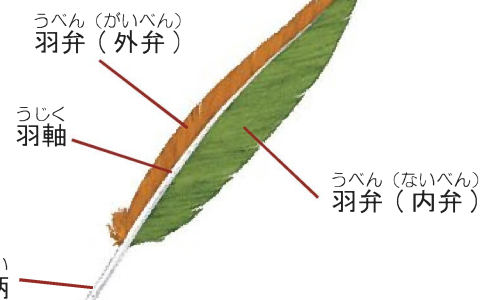
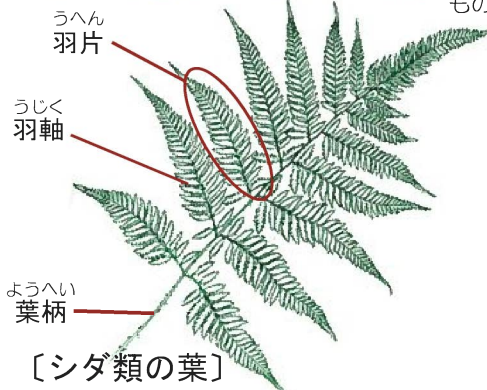
ノウサギに何が起きているのでしょうか？ 伝染病？人が多いためにどこか他へ行ってしまった？など、いろいろ考えられますが推測に過ぎません。

キツネの他にもノウサギを捕食する動物にテン（イタチ科）がいますが、テンの足跡はびっくりするほど多く残されています。テンがノウサギを食べつくしてしまったのでしょうか？ この現象は、これから何年も観察を続けていかないと答えは出ないと思われま



自然観察 基礎のきそ

あえて、図鑑の一番最初に載っていること取り上げ初心に帰るこのコーナー。今月は「羽根の名称」です。似たようなものには似たような名前がついています。



〔鳥類の羽根〕

【レンジャー：高橋千尋】

待ちにまった春 ワクワク♪ドキドキ！！

春と言ってもまだ名ばかり！と言ったところなのですが、里山を庭のように歩き廻っている人には樹木、草花など自然を見る度に確実に春がやって来ている事を実感しているのでは？ 特に今年は雪も多く寒い日が続きましたから春探しに夢中な人達は、より一層春を待ちわびる気持ちが強かったに違いありません。私もその中の一人と自分ではそう思っております。



左上 カタクリ 中央 マンサク 右上 セリバオウレン
左下 シュンラン 右下 アズマスゲ

気温や陽射しだけでも春は十分感じ取れるのですが、ここ自然観察センターのレンジャーさん達の入念な下調べもあって、具体的なテーマを元に、春の到来を告げる樹木の新芽や花芽、山野草の芽吹きや蕾、昆虫観察、野鳥観察などと、とても充実した自然観察会を提供してくださり、仲間達と共に存分に楽しませて頂いております。しかし、自然大好きな私は午前だけの観察活動だけでは飽き足らず、午後健康の為に仲間を道連れに思いのほか広大な太白山麓を縦横無尽に駆け巡っております。幸い仲間には、樹木、植物に大変詳しい方もおりまして、午前の復習を兼ねながら、突込みなどを入れたりして面白おかしく一石二鳥も三鳥もやっております。

そうそう！昆虫観察は、小1のちびっ子先生がおりまして、私達は元気を頂きながら、呆れ顔もされながら、いろいろと教えて頂いております。お蔭さまで自然の楽しさの深みにはまって、今では教授だの准教授だのと冗談を飛ばしながら、何十種類かの冬芽、樹皮をこの冬に覚えたのではないかと考えております。でも自慢の策頭ですから、入れた知識は水の如くストレートに流れ落ち、開いた口が塞がっております。

まだまだ本格的な春には程遠いのですが、3月ともなりますと、セリバオウレン、カタクリ、ショウジョウバカマなど山野草の花や蕾が次々と出始め、マンサク、キブシなど樹木の花もほころび始めます。それに野鳥の囀りも楽しみながら、冬から目覚めた昆虫の活動観察などと、いろいろ見るものが一気に増え、観察内容が充実して参りますので、もう子供のようにワクワク♪ドキドキ！！しながら、観察会をとっても楽しみにしております。

文・写真：中村恭敬さん（若林区）

3月のイベント

16日(土) 6:30~8:00

『おはよう野鳥かんさつ』

春まぢかの森へ元気な野鳥たちに会いにいきましょう♪
野鳥の会のおヒゲの講師が笑顔でご案内!



- 集合** 6:30a.m. 自然観察センター前
- 持ち物** 暖かく動きやすい服装とクツ、持っている方は双眼鏡など
※双眼鏡を無料貸し出します。
- 対象** 野鳥に興味のある方、春まぢかの森をゆっくり歩いてみたい方
- 申込み** 不要。時間まで自然観察センターにお集まり下さい。

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

3月のテーマは『春をさがしに』です。

実施日: 3日、10日、17日、24日、31日
10:00~11:30

(3月までは午前中のみ開催となります)

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



3月の休館日

4日、11日、
18日、25日



表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね!
レンジャーからのプレゼント
があるよ!!

トピック

2月15日に、滅多に出会えない
ヤマシギが確認されました。足元に
注意して探してみましょう。



Coming Soon!! イベント予告

平成25年4月13日(土) 10:00~12:00

「ぴっぴ先生と野鳥の巣箱かんさつ - その1・巣作り編」

定員先着10名。4月6日から電話受付開始します。

くわしくは次号か市政だより4月号をご覧ください。

♪森へおいでください♪



宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



Webから「森のおくりもの」が
カラーでご覧になれます。

「**太白山 森のおくりもの**」で検索。

「杜のひろば」のURL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2013年3月号 (毎月1回5日発行)

発行: (公財)仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp